



笑顔あふれ、愛と夢のある学校

宮内中だより

9月号 令和7年9月1日

＜自立貢献＞
学:学び続ける
恕:思いやれる
錬:たくましい

身に付けたい力

校長 野本 慶人

夏休みに突入すると同時に梅雨明け発表となり、連日のように猛暑、酷暑が続き、溶けてしまいそうな夏となりました。また、カムチャツカの大きな地震による津波警報やクマ出没の被害、川や海の水難事故等、痛ましい報道がなされておりました。1学期終業式には、自己管理についての話をしましたが、皆さんはいかがお過ごしでしたか。特に【時間の管理】については、自律が求められるため、難しさを感じた人も少なくなかったのではないのでしょうか。部活動に参加する生徒が職員室にのぞかせる顔は日に日に黒さが増しているようで、健康的な夏休みの生活を送っていると感じさせてくれた一場面でした。また、夏休み半ばに吹奏楽部のコンクールの演奏を聴きに行く機会がありました。運動部活動の経験しかない自分にとっては、各楽器の役割や一人ひとりの奏でる音色の繊細さを感じることができました。とても、力強く、一体感のある演奏でした。

さて、2学期が今日からスタートし、生徒たちの元気な声が学校に戻ってきました。2学期は、一年の中でも特に行事や活動が多く、生徒一人ひとりが「**集団の中での自分の役割**」を考えながら、「**他者と関わる力**」を育てていく大切な時期です。日々の学習や学校生活の中で、他の人とうどう関わり、どう協力し、どう支え合っていくか——これは学力と同じくらい、いや、場合によってはそれ以上に重要な「**生きる力**」だと私は考えています。

そして、他者と関わる活動を通して身につく姿は、本校の目指す生徒像のひとつでもある「**思いやれる生徒**」です。時には意見が合わなかったり、ぶつかったりすることもあるでしょう。ですが、そうした経験を重ねることで、困っている仲間へそっと声をかけたり、意見が食い違ったときにも相手の考えに耳を傾けたりと、人との接し方や自分の気持ちの伝え方、そして相手の立場に立って考える視点を身につけていきます。大切なのは、**うまくいかないときにどう乗り越えるかを学ぶ**ことです。集団の中の自分に気づき、周りの人の心や行動に気づく経験をたくさんしてほしいと思っています。「他者への思いやり」や「集団の中での役割意識」は、すぐに数字や成績に表れるものではありませんが、生徒一人ひとりの成長を温かく見守りながら、時には背中を押し、時にはそっと寄り添い、思いやりの心と責任ある行動が育つような指導を心がけてまいります。

3年生は、部活動を勇退し、新たな目標に向かっての生活がスタートします。1、2年生は新生チームとしての活動が始まっておりますが、1年後の自分たちの姿を見据えた活動となるよう期待しております。

ご家庭におかれましても、日々のお子様の变化に気づき、励まし、支えていただければ幸いです。保護者の皆様と連携しながら、生徒たちのより良い成長を支えていける学校でありたいと願っております。2学期もよろしくお願いいたします。

<大会・コンクール等結果> (敬称略)

○吹奏楽

第66回埼玉県吹奏楽コンクール地区大会
中学生Bの部 銀賞

○楽しい子育て全国キャラバン3行詩コンクール
北本市PTA連合会賞 河野 志保、金子 智輝

<民生委員・児童委員さんとの懇談会を開催>

8月20日(水)民生委員・児童委員さんとの懇談会を開催しました。

学校からは、各学年生徒の普段の様子を伝え、民生委員・児童委員さんからは、生徒の地域での様子をお聞きすることができました。

今後も生徒が安心・安全に生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域が連携していきましょう。

<<校内施設等の点検について>>

夏休み期間に、校内施設設備の点検を実施しました。全教職員で協力し、本校A棟B棟の施設に不審物がないか、死角となる場所はないかなど、複数の目で確認しました。

保護者の方々におかれましても、来校時に気になる箇所等ありましたら、教頭までお知らせください。

今後も生徒が安心して生活できる宮内中学校であるよう努めてまいります。



夏休みトピックス

8月のある日、市内在住の方から学校に電話がありました。

今朝、私がゴミ捨てをしていたら、宮内中の部活動帰りの生徒3人が手伝ってくれたのです。

私は今、怪我をしており、ゴミの袋さえも持つのが大変なのですが、ゴミ捨て場のアミをあげて、ゴミを捨ててくれました。とても助かりました。

さらに、「おうち近くですか。」と声をかけてくれて、家まで送ってくれたのです。

この話を聞いて、皆さんは何を感じ、何を考えますか。今回のように「相手の立場に立って」考え、「実際に行動する」ことの素晴らしさを切に感じました。

校長先生からの 2学期・実践目標

「思いやり」を意識した言動をしよう